

地域公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピール

名張市地域公共交通会議は、総合的な交通施策を推進するために「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」及び「道路運送法」に基づき設置されており、住民代表、公共交通事業者、関係行政機関など、地域公共交通の様々な関係者で構成しています。

本会議では、交通空白地等におけるコミュニティバスの運行や地域における移動利便性の確保をはじめ、市内公共交通全体のネットワークのあり方の検討、利用促進のための取組などを交通事業者や地域のコミュニティバス運行協議会と協働して実施してまいりました。

こうした中、今般の新型コロナウイルス感染症の影響は公共交通にも非常に大きなダメージを与えています。市内においては、昨年度同時期に比べ路線バスで約60%、コミュニティバスで約30%、タクシーで約30～55%もの利用者減少がみられます。このままでは、地域の公共交通を支えていただいている交通事業者の事業継続が危ぶまれる状況であり、そうなれば住民の生活にも大きな支障が生じます。

各公共交通機関では、三密を防ぐために大型車両に切り替えた運行や換気、消毒等様々な取組みを行っていただいています。本会議としても、こうした各公共交通機関の感染防止策の取組みを住民の皆さんに知っていただくことや、公共交通を維持していくために必要な取組みを引き続き実施してまいります。

地域の皆さまには、日常生活における重要なインフラでもある公共交通の大切さをご理解いただき、咳エチケットやマスクの着用の徹底や車内での会話はできるだけ控えいただくことなど、感染防止に留意した公共交通の利用にご協力をよろしく願います。

また、国土交通省及び三重県に対しましては、こうした地域の窮状をご理解いただき、持続可能な公共交通の維持確保のために必要な支援を速やかに、かつ、継続的に実施していただきたく、緊急アピールを宣言いたします。

令和2年8月11日

名張市地域公共交通会議

会長 森上 浩伸